

学校の沿革

- 明治7年 四辻、幾地、岩屋が連合して宝泉寺内に学校を開く。(5.1)
- 13年 幾地村カニ川に校舎を新築し、幾地小学校と称する。
- 15年 岩屋のみ分離する。
- 20年 幾地尋常小学校と称する。
- 32年 市場尋常小学校と称する。
- 37年 高等科を併設、市場尋常高等小学校と称する。
- 大正4年 岩屋・市場学校組合解散する。
- 昭和2年 丹後大震災のため校舎倒壊する。(3.7)
- 15年 国民学校令により、市場国民学校と称する。
- 22年 市場村立市場小学校と改称する。
- 29年 創立80周年記念式典挙行。校歌、校旗できあがる。(11.23)
- 30年 野田川町誕生。野田川町立市場小学校となる。(3.1)
- 42年 国際理解教育研究の発表を行う。
- 48年 新校舎竣工する。(1.30) ことばの教室開級する。(6.11)
- 49年 交通安全優良校として表彰を受ける。
- 50年 プール完成する。
- 51年 交通公園完成する。
- 52年 障害児学級開級する。
- 54年 体育館竣工する。
- 57年 健康安全教育実践発表を行う。
- 58年 57年度京都府学校安全優良校として表彰を受ける。
- 60年 グラウンド拡張工事を行う。
- 63年 京都国体炬火リレー及び開会式集団演技に6年生が参加する。
- 平成元年 府小研道徳研究大会を行う。京都府社会福祉協力校の指定を受ける。
- 3年 京都府学校安全優良校努力校の表彰を受ける。
- 6年 京都府健康優良校努力校の表彰を受ける。
- 8年 府環境教育推進校「ふるさとアメニティ・スクール」研究発表を行う。
- 11年 算数TT、初任者研修実施。
- 13年 保健室拡張工事を行う。
- 14年 文部科学省より「学力向上フロンティアスクール」の指定を受ける。(平成14・15・16年度)
京都府教育委員会より「京都・夢・未来校」の指定を受ける。(平成14・15年度)
野田川町教育委員会より「教育実践推進校」の指定を受ける。(平成14・15年度)
少人数授業(国語・算数)、初任者研修実施、東校舎(少人数教室他)増築
- 15年 国語科教育研究発表会を行う。校門を設置する。
- 16年 本館2階にパソコンルームを設置(児童用パソコン40台)
- 17年 少人数学級開設
- 18年 京都府学校歯科保健優良校の表彰を受ける。
京都府教育委員会より「京の子ども、夢・未来校」(教育課題対応校)、
与謝野町教育委員会より「教育実践推進校」の指定を受ける。(平成18・19年度)
- 19年 「京の子ども、夢・未来校」(教育課題対応校)として、国語科で研究発表を行う。
- 20年 「ネットいじめ防止に係る推進協力校」の指定を受ける。体育館耐震補強工事完了
- 21年 文部科学省より「道徳教育実践研究事業推進校」、与謝野町教育委員会より「道徳教育研究進校」の指定を受ける。(平成21・22年度) 校舎棟耐震補強工事完了
- 22年 文部科学省より「道徳教育実践研究事業推進校」、与謝野町教育委員会より「道徳教育研究推進校」として、道徳教育研究発表を行う。
- 24年 鯉池の改修
- 25年 京都府健康教育推進優良校「健やか奨励賞」の表彰を受ける。
- 26年 京都府教育委員会より「平成26年度京の子ども体力向上推進プロジェクト実践校」の指定を受ける。
京都府丹後教育局より「実践開発プロジェクト事業研究校」の指定を受ける。(平成26・27年度)
- 27年 「実践開発プロジェクト事業研究校」の研究発表を行う。中庭完成 鯉池の改修
- 28年 岩屋小学校編入。京都府丹後教育局より「小4ふりかえり学習」実践推進校の指定を受ける。
- 29年 与謝野町教育委員会より「与謝野町英語教育推進校」の指定を受ける。
- 30年 京都府教育委員会より「学力向上システム開発校」の指定を受ける。
- 31年 (令和元年) 「学力向上システム開発校」として外国語活動・国語科の研究発表を行う。
- 令和2年 丹後・中丹人権啓発活動地域ネットワーク協議会「人権の花」運動に参加し、感謝状贈呈を受ける。
- 3年 防火シャッター改修工事 藤棚老朽化に伴う補修完成